

川越基督教会

## 春のシンポジウム

### 「国教会の危機を救え！」

教会と共に生きた19世紀イギリスの「牧師の娘」たち

18世紀末から19世紀前半のイギリスでは、国教会（聖公会）の「危機」が叫ばれていました。福音主義熱のなかで非国教会各派の力が増し、人びとの国教会離れが顕著になっていたのです。どうしたら人びとを国教会に引き戻すことができるでしょうか？ 本報告ではこの役割を期待された牧師館の女性たち一とくに娘たち一に注目します。社会が目まぐるしく変化していくなか、国教会の行ったさまざまな取り組みは、牧師館に生まれた女性たちの人生に大きな影響を与えることになりました。そして彼女たちの奮闘は、国教会の女性観に変化をもたらしていったのでした。



日 時	6月 2日(日) 午後1時～
会 場	川越基督教会 会館
講 演	山 口 みどり 姉 大東文化大学社会学部教授 当教会信徒

講師、山口さんはイギリスの大学院で学位を取得し、19世紀の聖職者の家族について研究をされてこられました。今回はご専門のこの分野のお話しを画像を交えてお話しいただきます。

担 当  
川越基督教会 宣教部

